



吉原 美智恵 議員

公共交通の改善は

町長

先進地事例を参考に取り組む



新しくなったデマンドバス

〔吉原〕全町をカバーするデマンドバスが運行されている。
近年、利用者減に加え、平均乗車率も低く、町民が必要に応じて気軽に利用されているとは言えない。

町民の生活にとって重要な公共交通の改善が必要ではないか。

〔町長〕利用者減は、制度の不便さなどに要因があると考えられる。

さらなる利便性の向上と、効率的な運行をめざし、先進地事例などを参考に改善に取り組む。

組む。

〔吉原〕再度、制度利用についての説明や停留所の増、予約の簡素化など、利用者の立場に立つて見直しを求めます。

また、免許証返納問題は深刻であり、高齢者の外出機会が減ることとは心と体の健康に大いに影響する。

公共交通が身近で使いやすいことが、自主返納促進につながるのではないかと。

〔町長〕住民の移動手段の確保をしっかりと取り組んでいく。

青年の定住対策は

町長

さまざまな取り組みに邁進する

まいしん



野口 昌作 議員

〔野口〕高校を卒業し、厳しい大学入試を突破して入学、無事に卒業したものの都会で就職し、地元に戻ってこない。生家では、「跡継ぎが向こうに住宅を建ててしまった、この家もわしの代で終わりだ」という話をよく聞く。
青年が本町に帰って活躍する方策を実行しないか。

〔町長〕移住定住促進対策などで、「もうける仕組みづくり」などに取り組んできた。
あるいは、地元就職する人を優遇する制度などは考えないか。
〔町長〕奨学金に関しては今検討している。Uターン人材などの就職については考えていきたい。



旧中山中学校跡に建つ若者向け住宅

今後ともさまざまな取り組みに邁進したい。

〔野口〕町の奨学金制度をつくり、地元に戻り、地元を盛り上げたい意思のある学生に、返還猶予の制度はできないか。